

広報

この 11

2006
No. 634

笑顔もほくほく。

■土とのふれあい。みんなで掘ったよ

10月18日、黒坂保育所の子どもたちがいも掘りをしました。収穫したさつまいもは、ふかしいもにしたほか、茎を油いためにして給食時間にみんなで味わいました。

長江の業績と生涯をたどる

■生田長江シンポジウム



生田長江（1882年生まれ、貝原出身）、左は長女まり子

日野町出身の文芸評論家・翻訳家、生田長江。その業績については広報ひの8月号でも紹介しましたが、長江が残した足跡を検証し、後世に伝えていこうと、長江の研究者らによる「真摯のひと、光彩を放つ」生田長江シンポジウム（鳥取県生田長江顕彰事業実行委員会主催）が、10月29日、町文化センターで開かれました。

近代日本の文化を作ったひとりである長江

シンポジウムでは、基調講演として、谷崎昭男さんによる基調講演が行われました。谷崎さんは相模女子大学教授。生田長江の門人であった作家、佐藤春夫の全集編集委員をつとめたほか、評論家としても活躍しています。

基調講演（要旨）

長江は翻訳を多く手がけ、小説や戯曲を書くなど、文芸

だけではなく、文明批評など広い範囲にわたって評論活動をしてきた人です。

しかし、長江の仕事全体を見渡して私が一番だと思っは、そうした評論活動よりも、むしろ翻訳ではないかと思っます。それは、分量だけではなく、その質においても大変すばらしいと改めて感じています。

長江が残した翻訳の中でもっとも分量としても多いのはドイツの哲学者ニーチェの作品。この翻訳がどれほど近



谷崎昭男さん

代の日本の文化発展に役立つたかを考えるとき、長江は近代日本の文化を作った恩人のひとりであったと言わなければならぬだろうと思っます。

長江の翻訳が優れている理由、それは長江の人物によるところが大きいと思っます。長江は才気あふれる人。弁舌さわやかで演説が見事だったと伝えられています。原文の粹を出ることなくその才能を存分に生かしたということが、翻訳を見事なものにしたと思っは考えています。

今回、私もこの顕彰運動の一端を担わせていただき、ありがたく思っています。この運動が今後どうなっていくかが気がかり。長江のことを知ろうとしても作品を読むテキストがないという状況にも気をもんでいましたが、最近長江の作品集が一冊発行され、そうした動きが出てきたことをうれしく思っています。

基調講演の後、生田長江の会の河中信孝さん（日吉津村）による、昭和31年ごろ町内で始まった長江の顕彰運動についての解説がありました。

長江が亡くなったのは昭和11年（1936年）。その後、貝原の遠藤一夫さんが中心になって、まず公民館報に2度ほど長江についての文章を書かれた。当時それほど反響はなかったが、その後昭和31年ごろ新聞・ラジオで取り上げられたのをきっかけに長江の顕彰運動が盛り上がり、生田長江顕彰会ができました。当時の町長や県知事、地元の名士らが名を連ね、顕彰活動が始まりました。

また、東京にも顕彰会ができ、門人の佐藤春夫さん、伊福部隆彦さんらが中心となって活動しました。

顕彰会では、著名人の色紙を一人5枚ずつ、計600枚作り、県内各所で即売会を開いて活動資金にあてたそうです。根雨では当時の映画館・ことぶき館で行われたということです。

活動の中心は、延暦寺に顕彰碑を建て、長江の作品を出版すること。そのほか継続的な勉強会もあったようですが、遠藤さんは、「記念碑を立てるだけではなく、郷土の人々の心の中に記念碑を打ち立てなければならぬ」と書いています。この言葉には私も非常に感銘を受けました。



河中信孝さん



昭和32年、顕彰会が発行した冊子

長江の人物・業績を討論

シンポジウムの最後には、文芸史家の竹内道夫さんの司会によるパネルディスカッション（公開討論）が行われ、谷崎昭男さん、河中信孝さんをパネリストに迎えて長江の魅力や業績などが語り合われました。

パネルディスカッション（要旨）

谷崎 長江の翻訳は、文学作品たりうる一つの重さを持つており、読む人を動かす力を蓄えていると思います。

明治の女性解放運動のさきがけとなった『青鞥』の創刊に際して、その誌名を長江が付けています。それは、ロンドンで「ブルーストッキング」と呼ばれていた知的な女性たちの中で、日本では「紺足袋」と訳されていたのを長江が青鞥という呼び方に変えたというもの。青鞥が成功した理由はいろいろありますが、青鞥という名前の清新さがひとつにあると考えています。

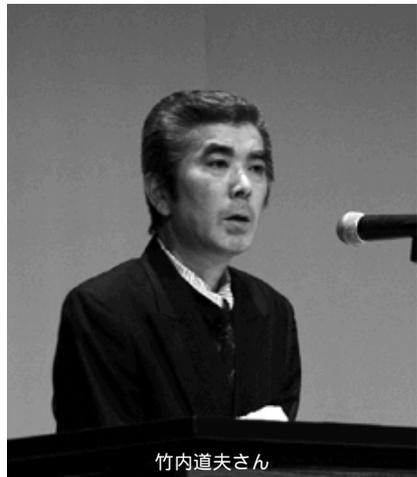
そんな風に、言葉には人を動かす力があります。

また、長江の翻訳から大きな影響を受けたのは詩人の萩原朔太郎で、長江の二丁エの訳詩から感化を受け、「漂泊者の歌」という詩の中に、長江訳の二丁エの詩の一部を取り入れています。

仏教、洗礼、そして創作

変化に富んだ一生

竹内 河中さん、長江の人物について解説をお願いします。河中 長江は、かなり一貫した筋を通して生涯を終えた人だったという気がしています。どの局面を見ても、貧しい人たち、虐げられた人たちに對して、何をどうしていけばいいのかを一生考え続けた真面目な人です。



竹内道夫さん

目な人であったと思います。

長江は敬けんな仏教徒の家庭に生まれ育ち、若くしてキリスト教の洗礼を受け、また社会主義運動に関心を寄せ、文芸評論、創作などの文筆活動を活発にやり、最後は『釈尊』執筆に全精力を傾けた、非常に変化に富んだ一生を送りました。

人柄としては、非常にきちりしたスタイルリストで、若いころはカイゼルひげをピンと生やしていましたが、ユーモア好きな一面もあり、ユーモアセンスがない人間はつまらんと考えていたようです。

江府町出身の妻・藤尾とは、夫婦というより兄弟という感じだと、生田春月への手紙にも書いています。また、新たな才能を持つひとを見つけて世に出すという能力もあり、多くの後輩・弟子を育てていた人です。

二丁エとの関わり

竹内 長江はなぜ全集を出版するほど二丁エに惹かれたのでしょうか。

谷崎 長江初の二丁エの翻訳である『アララトウストラ』



8月から10月にかけて長江セミナーも開かれる

以前にも、評論家・高山樗牛（ちやうぶ）らによってニーチェは日本で紹介され、関心を持たれていました。樗牛を尊敬していた長江がニーチェに関心を持ったことが想像できます。

竹内 長江がニーチェの全部を明らかにしたと言っ
てよいのでしょうか。

谷崎 長江の訳で日本で初めてニーチェを読むことができたわけだから、そうだと
思います。

長江が目指したものは

竹内 それでは、長江が目指そうとしたものについて、河
中さんの考えをお聞かせく
ださい。

河内 長江が目指していた
ものは、人の幸せといったも
のではなかったかと思いま
す。それをさまざまな角度
から検証して取り組んで
いったと考えます。

評論に見る長江の人物像

竹内 長江の評論観、評論に
おける位置づけをどうお考
えますか。

谷崎 長江は、批評というも
のをひとつのジャンルとし
て認めさせた人だと思いま
す。それまでは批評・感想を
書くということは、創作に比
べて価値の低いものとされ
ていました。それを同列ぐ
らいまでに高めたことが、長
江の文芸批評のもっとも大
きな意義だったと思います。
そういう手腕に長江は恵ま
れていたと思います。

竹内 長江がこれまでであま
り評価されることがなかつ
たことの原因はどこにある

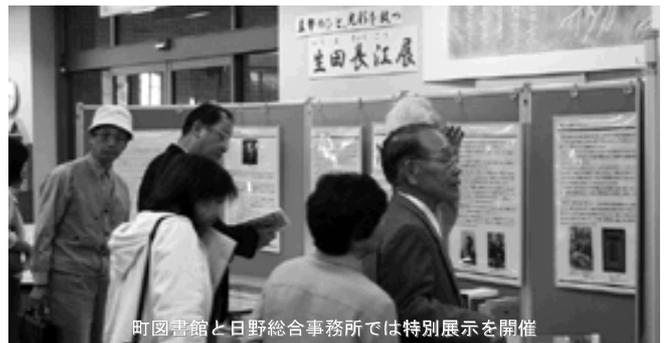
と思いますか。

谷崎 評論家で後世まで読
まれ続けるという人は極め
て少ない中、長江は関心を持
たれている方だろうと思い
ます。ただ、長江が損をして
いるところがあると思うの
は、青鞥創刊のきつかけと
なった長江が、後に「婦人解
放論の浅薄さ」という評論を
書いて批判する側に回った
こと。それに平塚らいてう
らが反論するという展開に
なりませんでした。女性解放運動
に限らず、長江はあらゆる局
面であえて異を唱えるよう
な動き方をしていた点で損
をしていたと思います。

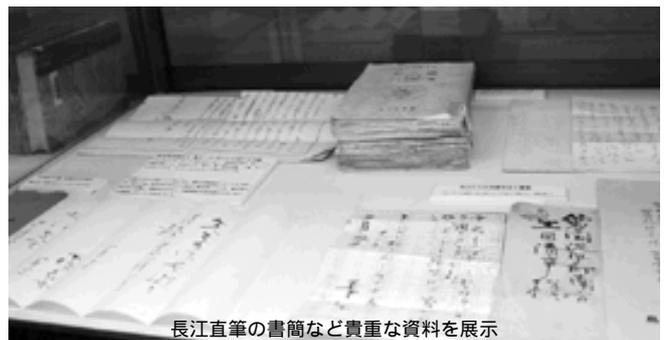
期待されるこれからの
顕彰活動

竹内 長江の門人の中で一
番有名な佐藤春夫は長江を
どのように見ていたのだ
でしょうか。

谷崎 佐藤は評論活動が主
だった人ではないので、長江
の評論に多くを学んだので
はなく、おそらく生き方・文
学者として生きる姿勢を最
も多く長江に学んだのだと
思います。また、長江を師匠



町図書館と日野総合事務所では特別展示を開催



長江直筆の書簡など貴重な資料を展示

にもったことが佐藤の誇り
でもあっただろうと考えま
す。

竹内 ありがとうございます
ました。このシンポジウムは
今回だけでなく、町でも長江
を核としているんな人を顕
彰していつていただきたい
と思います。新しい地域の
歴史や魅力、足跡をたどつて
いただきたい。そうした運
動をしていくことが、自分た
ちの地域に対する自信と誇
りが持てる、明るい地域づく
りにつながると思います。



長江の生い立ちや生涯を
わかりやすく解説したパン
フレット『こんにちは長江先
生（生田長江顕彰事業実行委
員会発行）』ができました。
ご希望の方は町図書館まで
どうぞ。

町民どうしがふれあう にぎやかな2日間



即売部門では早くから買い物客でにぎわう



黒坂小学校児童のかわいい傘踊り



力作ぞろいの展示部門



芸能部門では、客席とステージがひとつになって町民歌の合唱も



スポンサー賞は185本。提供してくださった皆さん、ありがとうございました

「生きいき」「ひのふれあいまつり」

町民どうしのふれあいを深め、明るいまちづくりを目指そうと、まちの総合イベント、第29回生きいき「ひのふれあいまつり」(同実行委員会主催)が、10月21日と22日の2日間、役場前駐車場、開発センター、町文化センターで開催されました。

役場前駐車場で行われた即売部門には13団体が参加、まちの特産品や木工品の即売や不要品のバザーなどが行われました。また、今回は栗まんじゅうやいか焼きなどの屋台も出

店し、買い物客らでにぎわいました。開発センターでの展示部門には、22団体による盆栽、書道、写真、手芸品などの作品が展示されました。

22日には、文化センターで芸能部門が行われ、コーラスや吹奏楽、舞踊、演劇など10団体が出演、日ごころの練習の成果を披露しました。

最後にはお楽しみ抽選会が開かれ、スポンサー賞として23団体から計185本の商品の提供があり、来場者に抽選で渡されました。



簡単に磁器の絵付けができるポーセラーツ教室も好評

秋の叙勲

福田和也さんに瑞宝双光章

さまざまな分野で活躍し、社会貢献した人たちを表彰する「秋の叙勲」が内閣府から発表され、日野町からは、福田和也さん（黒坂）が瑞宝双光章を受章され、11月8日、赤坂プリンスホテル（東京都）で伝達式が行われました。

福田さんは昭和10年生まれ。昭和35年、根雨小学校教員に採用された後、根雨中学校、石見中学校、日南中学校および県教育委員会での勤務を経て、昭和56年に西部教育事務所勤務。学事係長などを経て平成元年、同事務所長に任命され、県西部地区の教育全般の指導に手腕を発揮されました。

平成3年、江府中学校長に任命。翌年6月から平成12年までの8年間、町教育委員会の教育長に任命され、町文化センター建設、全日本マスターズ駅伝大会の誘致などに尽力され、また、平成14年10月から4年間教育委員長を務められ、まちの教育行政全般に貢献されました。



受章のことば

このたびの受章は、おそれ多くも思わぬ喜びでした。これを励みに、今後も地域活動や地域に役立つ人生を送りたいと思います。

全国コンテストで優秀賞を受賞 日野中学校吹奏楽部

11月4日、文京シビックホール（東京都文京区）で開かれた、2006（第12回）日本管楽合奏コンテスト全国大会に日野中学校吹奏楽部が出場しました。

これは、9月に行われた予備審査を通過して出場となったもので、日野中学校始まって以来の快挙。中学校の部に出場した18人の部員らは、「バレエ音楽 ガイーヌ（ハチャトゥリアン作曲）」を演奏し、みごと優秀賞を受賞しました。

顧問の今岡祐二教諭は、「部員たちは慣れない舞台上で緊張していたようでしたが、与えられた役割をきちんとこなし、ベストを尽くして演奏できました。また、地域の皆さんに多くの支援をいただき、部員一同感謝の気持ちでいっぱいです。今後もいろんな地域で演奏活動をして恩返しができるよう頑張りますのでよろしくお願い致します」と喜びを語りました。



写真左から、谷本和賀雄校長、伊田さん、稲田さん

県教育委員会表彰に 稲田浩明さんと伊田浩貴さん

教育・文化などの振興に寄与した人を表彰する平成18年度鳥取県教育委員会表彰で、日野町からは、日野中学校ソフトテニス部3年の稲田浩明さん（上菅）と伊田浩貴さん（福長）が選ばれ、11月2日、町文化センターで伝達式が行われました。

稲田さんと伊田さんは小学3年生の時からペアを組み、数々のソフトテニス大会で優秀な成績を収めており、これまでも町表彰などの賞を受賞しています。今回の表彰は、8月の全国中学校ソフトテニス大会男子個人戦で第3位となった功績が認められたものです。

オシドリシーズン到来!

シーズン初日に 650 羽が飛来

まちのシンボルとして親しまれているオシドリたちが、越冬のため 10 月下旬ごろから日野川に飛来し、愛らしい姿を見せています。

根雨のオシドリ観察小屋前の日野川では、観察小屋オープン初日の 11 月 1 日に約 650 羽を記録し、その華麗な姿を見ようと、県内外から多くの観察客が訪れました。

観察小屋でオシドリ観察ができるのは来年 3 月末まで。ピーク時には 800 羽以上が間近に観察できます。観察の見ごろは午前 7 時ごろ～午前 8 時ごろ、および午後 4 時ごろ～日没まで。皆さんもぜひ、仲睦まじいオシドリたちに会いに来てみてください。



11月1日、オシドリ観察小屋から撮影

森に親しみ、恵みに感謝

県民参加の森づくり推進事業

自然や木とふれあうことで、森の大切さを理解し、その恵みに感謝しようと、10月26日、町内の小学生を対象に体験学習が行われました。

これは、鳥取県民参加の森づくり推進事業の一つとして根雨小学校が主催したもので、今回は、シイタケの菌体験とヒノキの枝打ち体験が行われました。

根雨小学校 4 年生と黒坂小学校の 3・4 年生を対象にしたシイタケの菌体験学習では、椎茸生産組合と日野森林組合の指導で、ほだ木にドリルで穴を開け、シイタケの種こまを打ち込む作業をみんなで体験しました。子どもたちは「ドリルを使うのが初めてで

怖かったけど、金づちで打ち込む作業は面白かった」など感想を話しました。また、下榎の鵜の池近くのヒノキ林では、6 年生を対象に枝打ち体験が行われました。

枝打ちは、良質な木材を作るため必要な作業ですが、その他にも、林の地面に日光を当てて植物を成長させることで水害を防ぐなど、環境保全にも役立っています。子どもたちは日野総合事務所林業振興課職員の指導でのこぎりを使ってヒノキの枝打ちを楽しみにしていました。今日の作業環境保護の役割があるなんてはじめて知りました」と感想を話しました。



林業の大切さを実感



丁寧にほだ木に穴をあける



県内の優秀な牛たちが勢ぞろい

町内和牛が優秀な成績

県畜産共進会開催、来年は米子で全国和牛能力共進会が開かれる

県内の優秀な牛が集い、その優秀を競う、平成18年度県畜産共進会（全国農業協同組合連合会鳥取県本部ほか主催）が、10月14日、県中央家畜市場（琴浦町）で開かれました。

共進会では、牛の体型や資質、品位などが審査され、グランドチャンピオンが選ばれました。町内からは3頭が出品され、それぞれ優秀な成績を収めました。

成績（町内出品牛）

第3区

優等賞3席＝しばひめひら【出品者＝遠藤真由美（別所）】

第6区

1等賞主席＝しげつる【出品者＝松本勝美（本郷）】

1等賞主席＝ひらしげふじ【出品者＝西村正満（下榎）】

また、来年は和牛のオリンピックといわれる全国和牛能力共進会が、米子市崎津住宅団地を主会場に開かれます。現在、出品牛の絞り込み中で、町内にも出品候補牛があり、飼育農家も出品に向けて頑張っています。皆さんの声援をお願いします。

「第9回全国和牛能力共進会」のおしらせ

とき 平成19年10月11日（木）～14日（日）

ところ 米子市崎津住宅団地ほか

その他 期間中、鳥取和牛を使った巨大バーベキューや、ブランド牛の試食などのイベントも開かれます。

ごみ袋・シールには きちんと名前を書いて

11月はごみの分け方・出し方強化月間

まちでは、皆さんにごみに関心を持っていただくため、11月を「ごみの分け方・出し方強化月間」として取り組み、11月2日、ごみ収集パトロールを行いました。

パトロールでは、景山町長がごみ収集車に同行し、根雨、野田、舟場地区などのごみが出されている状況を視察しました。町長は、「可燃ごみの状況を見て回りましたが、皆さんきちんとごみを出されているようでした。気になった点は、ごみ袋に名前が書いてないものがいくつかあったこと。また、まちの中ではポイ捨てのごみやタバコの吸いがらもほとんどなく、非常にきれいだったのに感心しました」とコメント。



期間中、名前が書かれていないごみは収集しませんでした

自分が出したごみに責任を持っていただくためにも、ごみ袋・シールにきちんと名前を書いていただくことが必要です。

ごみの出し方など、詳しくは、全戸配布している「平成18年度 ごみ収集カレンダー」をご覧ください。

問合せ 役場産業振興課（電話 72 2101）

町職員給与、報酬などの状況を公表します

日野町職員の給与等を公表します。給与等は、国・県に準じてまちの条例等で定められています。
公表した数字は、平成 18 年 4 月 1 日現在および平成 18 年度当初予算時の金額等です。
まちでは、自立存続に向けた取り組みの中で町職員給与の引き下げ、手当ての見直しなどを行っています。

問合せ 役場総務企画課（電話 72 0331）

職員給与費（平成 18 年度当初予算、カッコ内は昨年度の数値）

職員数	給与費				1人当たり給与費
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計	
68人 (77人)	249,057千円 (300,993千円)	17,035千円 (24,809千円)	101,203千円 (120,835千円)	367,295千円 (446,637千円)	5,401千円 (5,800千円)

町長、助役、教育長を含まない。職員手当には退職手当組合負担金を含まない。

特別職の給与等（平成 18 年 4 月 1 日現在、カッコ内は昨年度の数値）

職名	給料・報酬月額	期末手当
町長	560,000円 (693,000円)	6月期 1.6月分 12月期 1.7月分 計 3.3月分
助役	555,000円 (555,000円)	
教育長	510,000円 (510,000円)	
議長	286,000円 (298,000円)	
副議長	212,000円 (222,000円)	
委員長	204,000円 (213,000円)	
議員	200,000円 (208,000円)	

職員の平均給料月額・平均年齢

（平成 18 年 4 月 1 日現在、カッコ内は昨年度の数値）

一般行政職		技能労務職	
平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
303,400円 (325,503円)	42.5歳 (42.5歳)	278,800円 (320,951円)	42.8歳 (44.9歳)

職員初任給（平成 18 年 4 月 1 日現在）

区分		日野町	国
一般行政職	大学卒	170,200円	170,200円
	高校卒	138,400円	138,400円
技能労務職		134,000円 ～ 153,800円	134,000円 ～ 153,800円

職員の年齢構成（平成 18 年 4 月 1 日現在）

区分	25歳未満	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～60歳	計
職員数	4人	4人	10人	5人	8人	18人	15人	4人	68人
構成比	5.9%	5.9%	14.7%	7.4%	11.8%	26.4%	22.0%	5.9%	100%

職員の手当（平成 18 年 4 月 1 日現在、カッコ内は昨年度の数値）

期末・勤勉とも国と同じ 職制上の段階、職務の級による加算措置あり

期末手当 6月期 = 1.4月分 12月期 = 1.6月分 計 3月分

勤勉手当 6月期 = 0.725月分 (0.7月分)

12月期 = 0.725月分 (0.7月分) 計 1.45月分 (1.4月分)

その他の手当 1か月当たり（平成 18 年 4 月 1 日現在、カッコ内は昨年度の数値）

扶養手当 配偶者 = 13,000円 (13,500円)

その他扶養親族 = 5,000円～11,000円 (16歳～22歳 = 1人につき5,000円加算)

住居手当 最高 27,000円 新築等 (5年間) = 2,500円

通勤手当 交通機関など利用 = 最高 8,900円 (最高 55,000円)

自家用車など (片道 2*以上) = 2,000円～8,900円 (2,000円～20,900円)

人生の大先輩をおもてなし

町内で敬老会開かれる

10月15日、舟場地区と黒坂・菅福地区の敬老会が開かれました。

舟場コミュニティセンターで開かれた舟場地区敬老会（舟場自治会主催）には、地区の75歳以上のお年寄り14人が出席、地元ボランテアによる健康体操や銭太鼓などのアトラクション、手づくり弁当での懇親会などのおもてなしをしました。

黒坂小学校体育館で開かれた黒坂・菅福地区手づくりの敬老会（黒坂地区コミュニティ推進



舟場昭和会による銭太鼓（舟場）

協議会主催）には、黒坂・菅福地区の75歳以上のお年寄り約120人が出席、新舞踊や日野高校郷土芸能部による荒神神楽のアトラクションと、手づくり弁当などでの懇親会が開かれ、長寿と健康を祝いました。



盆栽研究会の作品も展示（黒坂）



繰り広げられるアトラクションに笑顔で拍手（黒坂）

まちの話題

焼きいもで交流

津地いも掘り交流会

10月20日、津地地内の畑で、ひのつ子保育所とのいも掘り交流会が開かれました。

これは、農地の保全活動をする中山間地域等直接支払津地集落協定（山田匡亮代表）が交流事業として開き、休耕田でさつまいもを栽培して園児といも掘りを楽しみました。

園児は両手に抱えられないほどのいもを掘ったり、皆で焼きいもを試食しました。



こんなにいっぱいとれました！

まだまだ現役！

町老人大会

町内の老人クラブが一堂に集い、健康づくりと親ほくを図ろうと、10月31日、第25回町老人大会（町老人クラブ連合会主催）が黒坂社会体育館で開かれ、町内14の老人クラブ会員120人が参加しました。

大会では、赤青黄白の4組に分かれての水入れ競争、花吹雪、大玉転がしなどの競技が行われました。参加者らは、珍プレーに歓声を上げながら競技を楽しみ、会員同士の親ほくを深めました。



一斉に玉が舞う花吹雪

あなたの声や地域、職場での話題をお寄せください。
★役場総務企画課まで（電話72・0331）



上位3点の米をご飯にして食べ比べ

最もおいしい米を表彰

日野川源流米コンテスト

日野川源流で採れたおいしい米を審査する、第4回日野川源流米コンテストが、11月1日、山村開発センターで開かれました。

コンテストには、郡内と旧溝口町内で栽培されたコシヒカリ計121点が出品され、食味計により選ばれた上位3点の米を出席者が実際に味わって採点した結果、最優秀賞を選びました。

町内からは、川上直樹さん（本郷）の米が奨励賞に選ばれました。

第2回D・スポーツ杯

夜間リーグバレーボール大会結果

（9月13日～11月8日、日野中学校体育館）

【リーグ戦結果】

1部リーグ 第1位＝野田
第2位＝真住
第3位＝日野病院組合
第4位＝林業クラブ
第5位＝飛天

2部リーグ 第1位＝D・スポーツ
第2位＝日翔会
第3位＝日野高校
第4位＝日野町役場
第5位＝TEAM N.E.U

【決勝トーナメント結果（第3位まで掲載）】

総合優勝＝野田 準優勝＝真住
第3位＝日野病院組合

笑いの中に人間の大切さを訴える

人権啓発講演会・第31回町人権・同和教育研究集会



巧みな話術で表情豊かに語る新治さん

11月10日、人権啓発講演会および第31回日野町人権・同和教育研究集会（町ほか主催）が町文化センターで開かれ、落語家の露の新治さんによる「新ちゃんのお笑い人権高座」と題した講演と研修会が行われました。

新治さんは、得意のユーモアを交えながら他人を差別する愚かしさや自分に自信を持つ大切さなどを話し、「差別をなくす願いに生きていこう」と満員の客席に訴えかけました。

20組のおしどり夫婦を祝福

結婚50周年（金婚）記念

今年結婚50周年を迎えられた町内の夫婦に、11月10日と16日、まちから金婚の記念品が贈られました。今年の該当は、昭和31年中に婚姻届を出された、次の20組の夫婦です。

おめでとございます。

（敬称略・順不同）

小田 清・政子（根雨）
景山 厚・寛子（根雨）
松本 憲一・豊美（高尾）
山形 幸雄・初音（板井原）
中尾 博・玲子（濁谷）
谷口 正志・英子（濁谷）
松本 信行・静香（門谷）
柴田 道徳・ひさ子（秋縄）
宇田 浩訓・節子（下榎）
小谷 三郎・房子（下榎）
足羽 茂・薫代（小原）
松本 保・享子（別所）
音田 正義・すま子（別所）
中西 甚間・静枝（黒坂）
前田 操・富士江（黒坂）
佐々木 陽・露子（下黒坂）
生田 守夫・智登子（下黒坂）
稲田 茂・寿美子（上菅）
西村 仁一・積恵（福長）
長谷川 昭次・妙子（福長）

ご相談ください
米子社会保険事務所年金相談

米子社会保険事務所では、「うっかり収め忘れていた」「私の年金ってどうなっているの?」など、あなたの疑問にお答えします。

なお、相談にお越しの際は、年金手帳など、本人であることが確認できるものを必ず持参ください。また、代理人が来られる際には委任状が必要です。

場所 米子社会保険事務所
(米子市西福原2-1-34)
日時 12月9日(土)、10日(日)午前8時30分～午後4時
12月26日(火)、27日(水)午前8時30分～午後7時

12月9日(土)については相談時間の予約をしていただきますので、お名前、基礎年金番号、ご相談内容などを前日までにお電話でお申し込みください。なお、相談窓口には限りがありますので、ご希望にそえない場合があります。

このほか、毎週月曜日の午前8時30分～午後7時まで相談を受け付けています。

問合せ 米子社会保険事務所
(電話0859 34 6111)

ご利用ください
根雨駅「J」予約駐車場

J R 伯備線根雨駅から特急列車を利用するときは、根雨駅のご予約駐車場(無料)を使用すると便利です。

利用条件 東京、京阪神、山陽以遠へ往復ともJRを利用する人

利用方法 駅でJRの指定券などを買うときに、利用する日の駐車場を申し込む

出発当日、駐車整理番号位置に駐車し、特急列車で出発
問合せ JR根雨駅(電話72 0057)

12月1日は世界エイズデー
HIV迅速検査のお知らせ

毎年12月1日は世界エイズ

デーです。日本国内のエイズウイルス感染者・エイズ患者は年々増加しており、昨年度の新規報告数は過去最高になつています。全国的に見ると20～30代で最も多くなつていきます。

日野総合事務所福祉保健局では、世界エイズデーにあわせて、エイズ迅速検査を行います。この検査では、当日検査結果を知ることが出来ます。

日時 12月4日(月)午後3時30分～午後6時30分
場所 日野総合事務所第2庁舎(根雨71-1)

内容 血液検査(HIV迅速検査、性感染症検査)

検査は無料・匿名で受けられ、検査後約20分で検査結果をお知らせします。

申込み 予約制です。事前に電話でご予約ください。申込先・問合せ 日野総合事務所福祉保健局 保健衛生課
(電話72 2037)

予約受付は平日の午前8時30分～午後5時30分まで。

(総務企画課からの回答)

貴重なご提案をいただきありがとうございます。

まず、まちの定時放送を夜だけでなく、朝や昼にも流してはということですが、現在、定時放送の内容は町ホームページ(<http://www.town.hino.tottori.jp>)に放送当日の午後5時から翌日午後5時まで掲載しており、インターネットに接続しているご家庭ならいつでも情報をご覧いただけます。定時放送の時間帯の変更は現在予定しておりませんが、行事などの急な変更(雨天による中止・延期など)は当日の朝や昼間に臨時放送でお知らせすることとしています。

また、夕方の時報については、各学校の夏休み期間中、子どもたちの帰宅を促す意味も込めて、午後6時から町民歌「きりりこの町」を放送していたものです。いずれにしても、今後もまちの皆さんのご意見などをお聞きして検討を重ね、便利な放送、聞きやすい放送をめざしてまいります。



お答えします 提案箱

町内5か所に置いている『提案箱』に寄せられたご意見・ご提案の一部をご紹介します。

(町内の方からのご提案)

防災無線の活用についての提案です。

まちのお知らせ放送は、午後7時30分からですが、毎日その時間に家にいるとは限りません。お昼の時間に放送することは無理でしょうか。また、まちの行事など、当日朝に放送すれば便利です。

また、夏には夕方6時の時報の代わりに音楽が流れ、気持ちよく聞きました。季節に合った曲が流れれば、ただの時報より感じがよいと思います。

まちへのご意見・ご提案などなんでも提案箱へお寄せください。寄せられたご意見の一部と回答を紙上でご紹介します。
提案箱の設置場所＝町役場、役場黒坂支所、日野病院、根雨および黒坂郵便局

平成 18 年度

日野町生涯学習まちづくり大会

入場無料!

と き 12月10日(日) 9:00 ~

ところ 町文化センター ホール森の音楽隊

内 容 実践発表 9:15 ~

テーマ「日野町で生きる私の実践」

発表者 地域防犯・生活安全パトロール協議会

山本武史氏

黒坂地区コミュニティ推進協議会

柴田 滋氏

アトラクション 9:45 ~

出演 根雨小学校3年生による太鼓

黒坂小学校3~6年生による合奏

町民ミュージカル出演者による歌

記念講演 10:25 ~

演題「生涯学習とまちづくり

~夕日の町からのメッセージ~」

講師 若松進一氏(愛媛県・元双海町教育長)

若松氏は国土交通省選定の「観光カリス
スマ100選」のひとり。過疎・高齢化
に悩む愛媛県双海町(現伊予市)で、
「夕日」をテーマにした地域の活性化を
実現し、現在数十万人の観光客を集め
ています。

主催 = 日野町 後援 = 町教育委員会、町青少年育成会、
町小中学校PTA連絡協議会、町文化団体連絡協議会

日野郡男女共同参画連絡会研修会

心の笑顔

~心から笑顔になっていますか~

と き 11月25日(土) 10:00 ~

ところ 山村開発センター 2階研修室

講 師 三島道秀氏(瑠璃光山泉龍寺住職)

その他 入場無料。手話通訳もあります

問合せ 日野郡男女共同参画連絡会事務局

(日野総合事務所県民局内 電話 72-2083)

自動車でお越しの方は、役場前駐車場または日野総合事務所駐車場をご利用ください。



1冊 500円

色は、黒、赤、水色の3色

役場総務企画課または役場黒坂支
所で購入できます

鳥取県民手帳
2007年版発売中!

出雲街道根雨宿一番館

日野高ショップ

日 時 12月9日(土) 午前10時~午前11時30分まで

場 所 出雲街道根雨宿一番館前(根雨)

販売品 野菜(ネギ)

加工品(ケチャップ、豆腐、みそ、ジャム)

製造が間に合えばベーコンも販売する予定です。

草 花(パンジー、ピオラ、葉ボタン、シクラメン)

問合せ 日野高等学校 担当 西村あ、藤原(電話 72 0365)



今年度の日野高ショップは、12月を
もちまして終了します。
皆様のご来店を心よりお待ちしております。

商品紹介 トマトケチャップ

日野高校の「トマトケチャップ」は、味
が濃厚で、クセになるおいしさです。オ
ムライスやスパゲティなどの料理に、ぜ
ひ一度お試しください。

価格 1本 300円



未開封のままだと約1年間保存できます。

日野町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1
電話：74-0212 FAX：74-0105
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

おしどり学園町外研修 今年も倉吉方面へ

『打吹山伝説』を学ぶ

10月20日、おしどり学園町外研修を行い、学園生27人で倉吉を訪ねました。バスで日野町を出発し、午前10時ごろ鳥取短期大学に到着。はじめに鳥取短期大学講師・出雲かんべの里館長の酒井薫美さんに「打吹山の天女について」と題して講演いただきました。



酒井さん

「打吹山の天女」の伝説は、地元では東郷湖や打吹山など、土地と結びついて語られています。『伯耆の中ほどに大きな湖があり、そこに舎人という獵人が湖に出て獵をしように思っている』と、そこに美しい天人が水浴びをしていた。舎人はこんな美人が自分の妻になったらと思いい、天人の着ていた羽衣を取って天人が上がるのを待っていた。天人は「羽衣を返してください」と何度も言ったが舎人は返さない。天人はとうとう舎人の言うことを聞いて妻になつた。

天人に浅津と言う名前を付

け、やがて舎人と浅津の間に、お倉とお吉という2人の女の子が生まれた。妹のお吉が12、3歳の時、舎人の留守中に、浅津がお倉とお吉に、父親が何か隠していないかと問いつめると、お倉が「この前お父さんの後をつけて行ってみたら、大きな山の上に石があった。何か出して見ては喜んで、またそれをしまつて帰んなつた」と話した。

浅津は子どもをそこに置いて大きな石の所に行き（その石は羽衣石といつて、現在も残っています）、その石の下から羽衣を出して身にまとい、空を2、3回まわる。子どもたちがいくら呼んでも見向きもしないで空へ空へ上がつていく。姉妹は笛を吹いたり太鼓をたたいたりしたが、浅津は見知らぬ顔で西の方へ舞つていき姿が見えなくなつ

た。姉妹は父親の所へいまして、帰るわけにもいかず、とうとう里に住みついた。その里が現在の倉吉市である。『倉吉という地名は、お倉とお吉からとつて付いたもので、また、この「打吹山の天女」は世界中に伝説として広がっているそうです。』

『倉吉緋』の歴史にふれる

引き続き、^{かすり}緋美術館館長の吉田公之介さんに『倉吉緋』について講演いただきました。『倉吉緋は、県中部の倉吉とその周辺地域で織られていた。県西部の弓ヶ浜半島地域の「弓浜緋」、島根県広瀬町の「広瀬緋」と並ぶ、山陰の緋の1つで、江戸末期に織り始められた。最盛期は明治中期から末期ごろで、多くの緋問屋や緋工場ができ、年間約3万8千反が織られていた。このころ倉吉緋は国内外で高い評価を得て数多くの賞を受賞した。倉吉緋の特徴は、商業緋に



吉田さん

限つて言うと、他地域の緋と比べて極端に緋足が少ない（ずれが少ない）こと。倉吉では、絵師が書いた絵画的な模様などを、緋足の少ない染物のように図柄がきつちりと合った精巧な緋が織られていた。商業的に高級品としての緋を作ることで購買層を変えることができ、他の地域の緋との競争を避けることができたという。

しかし大正時代に入ると、大資本を背景にした機械織製品におされてしだいに衰退していった。第二次世界大戦後は衣料不足の影響もあつて一時的に緋を織る人も増えたが、安い工場製品が大量に出まわつていくようになった。

その後、高度経済成長時代になると人々の暮らしにも変化が訪れ、重くて臭う緋の布団や着物、機は無用の長物になり、倉吉では緋はほとんど織られなくなつた。

現在では倉吉緋を残そうという人々たちによって倉吉緋保存会が作られ、緋の保存と技術の伝承に努めており、鳥取短期大学の緋美術館並びに緋研究室もその一端を担っている」と話されました。

子ども居場所づくり事業 『子どもアジゴ釣り教室』



子ども居場所づくり事業

当初9月中旬に予定していましたが、台風接近により仕方なく中止にしていたところ、子どもたちから「どうしても釣りがしたい！もう一度計画してほしい！」との声が多く寄せられ、10月28日にあらためて開き、子ども15人と保護者4人が参加、境港市の夢みなと公園でアジゴ釣りを楽しみました。

当日は、時間帯が遅かったせいか、潮流などの影響で魚が深く潜ってしまい、なかなか針にかかりませんでした。特に低学年の子は苦しんでいたようですが、最後によりやく魚を釣ることができ、喜んでいました。

公民館からのお願い

公民館は多くの皆さんが各部屋を利用されます。

部屋の利用後は必ず掃除をしてくださいますようお願いいたします。

地域防犯・生活安全パトロール協議会 『歩いて地域を見守り隊』大歓迎！

地域防犯・生活安全パトロール協議会では、地域の安全・安心を守るため、会員が日々防犯パトロールを行っています。

会員の活動は主に青パトによる町内全域の防犯パトロールですが、そのうち舟場では、地域ぐるみで「歩いて地域を見守る」防犯活動に取り組んでいます。

青パトで町内全域を巡回することは、とても大きな防犯啓発活動になりますが、やはり一番大事なのは地域に住む町民の目ではないかと思えます。また、会員としてはありませんが、黒坂下3区の皆さんも、黒坂小学校周辺の見回りをしてくださっています。

今、協議会では青パトはもちろん、歩いて自分たちの地域を見守ってくださる会員の方を募集しています。毎日ではなく、自分の都合の良いとき、歩けるときに子どもたちと一緒に通学路を歩いてみて、安全を見守っていただけないでしょうか？

問合せ 地域防犯・生活安全パトロール協議会事務局（町公民館 電話74 0212）

パソコン教室を開きました

10月の毎週水曜日の夜、「エクセルを基礎から学ぼう」と題してパソコン教室を開きました。

このパソコン教室は毎回受講希望者が多く、今回の教室も定員を上回る応募がありました。公民館職員の指導でエクセル表計算の基礎から始め、最後は家計簿の作り方まで学習しました。

全4回の教室を終え感想を聞いたところ「これからはパソコンを使って家計簿を作ってみます」と言われる受講生もありました。

公民館ロビー展

動くおもちゃと紙人形展

(12月18日まで)

公民館まつりで子どもたちが作った動くおもちゃと、生田洋子さん(下菅)の紙人形を展示する予定です。どうぞご覧下さい。

(展示時間=8:30~17:30)

展示作品を募集します

町公民館では、グループや個人の絵画、写真、手芸などの作品展示を企画していますので、出品希望がありましたらご連絡ください。

第9回おしどり学園のご案内

日時 12月15日(金)9:00~12:30

場所 町公民館

内容 一般教養講座「気象について」

講師:川上護さん

グループ専門講座

第7回 公民館まつり

日時 11月24日(金)~26日(日)

8:30~17:30(最終日は15:00まで)

場所 町公民館

内容 各種教室、もちつき・ぜんざい販売、作品展示など

主な催し物

開会式(公民館駐車場)=24日(金)9:00~

内容=テープカット、黒坂小児童による傘お

雨天の場合はテープカットのみ

お楽しみ抽選会(公民館玄関)

26日(日)12:00~13:00

抽選会の引換券渡し(公民館玄関)

25日(土)12:00~13:00

素敵な景品をたくさん用意していますので、お誘いあわせお出かけください。

公民館まつりの詳しい内容は11月2日全戸配布のチラシをご覧ください。

りんぽかん 隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1
 電話：72-1191 (FAX兼)
 E-mail：rinpokan@town.hino.tottori.jp



子どもたちを取り巻く環境を学ぶ

日野町保学人権・
 同和教育研修会開かれる

町内の保育所、小・中学校の児童・生徒に、部落差別についての正しい認識を養い、部落の完全解放とあらゆる差別の解消をめざす人権・同和教育の推進を目的に、日野町保学人権・同和教育推進協議会による研修会が、10月19日、午前はひのつこ保育所で、午後は根雨小学校を会場に開かれました。

子どもたちの生活習慣の見直しを

ひのつこ保育所での「登所後の子どもたちの活動」と、年長児の「ゲームであそぶ」の公開保育では、園庭のそばにある畑や、周辺の草取りから始まり、抜いた草を集める場所を決めたり、どうしたら抜きやすくなるかなど、子どもなりの工夫が見え、広い園庭を鬼ごっこで走り回る姿もありました。その後、園舎でゲームを行

らないと保育を通じて学びました。

小学校でも
 人権学習に取り組む

根雨小学校の公開授業では、1年生を除く各学年で、人権学習に取り組みの様子を見学できました。

その中で、6年生は、事前に学習した「子どもの権利条約」を通して、日ごろ感じている遊びや休み時間についてまとめ提案し、それらをもとに遊ぶ時間や休み時間の確保などについて班ごとにまとめ提案し、本当にみんなができてきそうなことなのかクラスで検証していきま

話し合いを通して、自分たちの人権が決まりによって守られていることや、自分たちの言動によって他の人々の人権を傷つけるおそれがあるという気づきが大切で、学習を進めていくうえで、友だちの意見を大事にしなから自分の意見と比較し思いを深めることで、人と関わる力を養うことができたのではないでしょう。

クラフト電気ペンで
 木版画に挑戦しませんか？

木工講座で、電気ペンを使って木版画をはじめたところ、とても好評でした。解放文化祭でもご覧いただけと思いますが、初めての方でも気軽にできます。

いらなくなったらかまぼこ板などを使えばリサイクルにもなり、世界に一つだけのオリジナルの芸術作品になりますよ。一度挑戦してみませんか？

木工講座の予定は左の予定表をご覧ください。

12月の学習講座予定		
木工講座	5日(火)	12日(火) 午前9時~
	下榎集会所(講師 原広之さん)	
編み物講座	9日(土)	午後7時~
	老人憩の家(講師 安達利子さん)	
生活の知恵講座	16日(土)	午後7時~
	下榎集会所(講師 恩田記子さん)	
生け花講座	19日(火)	午後7時30分~
	下榎集会所(講師 生田清子さん)	

けい太の見た夢の中 長楽寺の不動明王

日野町民ミュージカル

ものがたり
めまぐるしい現代社会の中で目的を見失った一人の少年「けい太」が日野の地を守る長楽寺の不動明王に連れられ、江戸時代へタイムスリップ。そこで村人や孤児たち、旅芸人お国らとのかかわりを通し、自然の中で生きる厳しさを知る。そこへ村を大洪水が襲い...

町内を中心とした小・中学生と大人28人が5か月にわたり練習を重ねた成果をどうぞご覧ください。



「新生日野」「大地のうた」など新曲や踊りもいっぱい

とき **12月17日(日)**

昼の部 13:30 開演 (12:45 開場)
夜の部 18:00 開演 (17:15 開場)

ところ 町文化センター ホール森の音楽隊

入場料 中学生以上 1,000円
4歳～小学生 800円

チケットは町文化センター、町公民館で発売中

問合せ 町文化センター (電話 72 1300)

12月のホールイベント

12月3日(日) 午後1時～

ふれあいJ Aまつり演芸大会

舞踊、寸劇、カラオケ、日野高校郷土芸能部による荒神神楽(入場無料)

12月10日(日) 午前9時～

日野町生涯学習まちづくり大会

内容は13ページをご覧ください

12月21日(木) 午後1時～

日野高校軽音楽部定期演奏会 (入場無料)

文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinotosyo@book.town.hino.tottori.jp

月～金 午前9時30分～午後6時

土・日 午前9時～午後5時

カレンダー

○印が休館日です

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

図書館の展示コーナー

12月1日(金)～14日(木)

長楽寺の仏像写真展

町民ミュージカルにも登場する国の重要文化財「不動明王像」ほか、長楽寺の仏像たちの世界(撮影:松本利秋さん)

12月15日(金)～27日(水)

福田摂子さんパッチワークと川上晋次郎さん絵手紙展

古民家に移住してこられた福田さんと家主・川上さんのコラボレーション

図書館おはなし会

12月16日(土) 10:00～

場所: 町図書館

クリスマスのおはなし、パネルシアターやわらべうたなど(参加無料)

木のおもちゃづくり

11月26日(日) 9:00～

場所: 町公民館

講師: 若林孝典さん

動くおもちゃをつくらう!

「ゆらゆらのぼり人形」「いやいや」

「かえるのジャンプ」から一点

(要材料費: 500円)

12月10日(日) 10:00～

場所: 図書館車庫

クリスマスの組み木など(要材料費)



子育て支援室 だより

ひのっこ保育所 子育て支援室では、保育所に入所していない子どもたちを迎えて、毎週水曜日の午前9時から午前11時まで、親子で楽しく遊んでいます。

募集していた子育て支援室の愛称が「おひさまひろば」に決まりました。『太陽の光をいっぱい浴びたあたたかい部屋で親子でのびのびとふれあえる場』として、この名前をつけました。たくさんのご応募ありがとうございました。

また、アンケートの結果、毎週水曜日の午前9時から2時間の開所を希望される方が一番多く、引き続き同じ曜日・時間帯で開所します。

支援室の時間設定は次のとおりです。

- 9:00 ~ 11:00 受付 (随時受付しています)
- 9:00 ~ 絵本読み、室内おもちゃ遊び (積木、ブロックなど)、ふれあいあそび (わらべうたなど)
- 9:30 ~ 一斉活動 (折り紙、お話し会など)
- 10:00 ~ 外遊び (雨天の場合は室内遊び)

- 10:40 ~ 片付け、ティータイム (各自持参)
- 10:50 ~ 支援室掃除、次回日程打ち合わせ
- 11:00 ~ あいさつ (終了)

10月の支援室では、天気もよく、保育所の周りに散歩に出かけ、秋の草花を摘んだり、気持ち良い風を感じながらゆったりとした時間を過ごした日もありました。

これから外はだんだん寒くなりますが、支援室はポカポカ暖かです。遊びに来てくださいね。

連絡先 ひのっこ保育所 担当 音田 (電話 72 - 0238)

12月の日程

- 6日: 折り紙あそび
栄養士・保健師による育児相談日
- 13日: おにぎり作り (要材料費: 1世帯 100円)
この日は町公民館 (黒坂) で行います。
ひのっこ保育所は開放しませんのでご了承ください。
- 20日: おはなし会
- 27日: お休みです

こころの散歩 日野町俳句同好会 選

銀杏炒る音おほらかに午後寺(講師)谷 悦子

枯れ紫蘇の小鈴振りく実をこぼす 安達つるゑ

鶏頭の鶏冠深紅に燃えてをり 荒木 習子

秋明菊地震にこぼれしなまこ壁 勝瀬 京子

ひと刷げの雲の表情秋の空 川上 文子

秋の陽をたつぷり布団浄土かな 久城 霞溪

雑踏の中の別れや秋時雨 徳本千鶴子

備へある杖秋草の登山口 眞壁富貴枝

(五十音順)

鳥取NOW 第72号

12月1日発売!



巻頭特集「南米移住物語」: 今年是最初の鳥取県人がブラジルの地を踏んで100年目。夢を抱いて移住した人々の苦悩や、現在そこで生活する鳥取県人会の姿を紹介。

1冊300円 最寄りの書店または役場総務企画課で購入できます。

編集後記

珍しく自分の部屋を片付けてみました。そして気づいたのは、自分は「捨てる」という行為が苦手だということ。2度と読まないであろう雑誌の5年分位が本棚の3段を占領しており、新しく買った本が収納できないという状況が発生。この年末は心を鬼にして捨てまくってやるぞ! ...と昨年も決意したよなあ確か。(i)

おくやみ

ご冥福をお祈りします

(氏名) (年齢) (住所)

10月届出分 小谷 稔 73歳 上菅

11月届出分 山田佳哉子 82歳 津地

赤ちゃん誕生

おめでと〜ございます

(出生児) (出生日) (保護者)(性別)(住所)

10月届出分 下村 陸 智史・恵子 男の子 本郷

11月届出分 遠藤 哲也 和也・由加 男の子 榎市

10月31日現在

わたしの町 (前月比)

人口 4,202人 (-9)

男性 1,969人 (-3)

女性 2,233人 (-6)

世帯 1,563戸 (-3)

届出 10月11日 ~ 11月10日 敬称略

12月 DECEMBER (師走)



1 金		16 土	隣保館生活の知恵講座 下榎集会所 午後7時～
2 土		17 日	町民ミュージカル公演 町文化センター 昼の部：午後1時30分開演、夜の部：午後6時開演
3 日		18 月	古紙の収集日(黒坂・菅福地区)
4 月	健康相談 町公民館 午前9時～午前10時	19 火	隣保館生け花講座 下榎集会所 午後7時30分～
	不燃・資源ごみの収集日(黒坂・菅福地区)	20 水	発泡スチロール・電池の収集日(7班)
5 火	人権相談 開発センター 午後1時～午後3時	21 木	不要犬・猫引取り日 日野保健所
	心配ごと・子育て・高齢者生活相談 開発センター、老人福祉センター 午後1時～午後3時		発泡スチロール・電池の収集日(8班)
	乳幼児相談 開発センター 受付：午後1時15分～午後1時30分	22 金	金曜日と土曜日の地区の可燃ごみを収集します
	隣保館木工講座 下榎集会所 午前9時～	23 土	天皇誕生日(可燃ごみの収集は休みます)
6 水	発泡スチロール・電池の収集日(1班)	24 日	
7 木	年金相談 開発センター 午前10時～正午、午後1時～午後3時	25 月	固定資産税3期分、国民健康保険税6期分、 介護保険料6期分納期限
	不要犬・猫引取り日 日野保健所		古紙の収集日(根雨・日野地区)
	発泡スチロール・電池の収集日(2班)	26 火	発泡スチロール・電池の収集日(9班)
8 金	発泡スチロール・電池の収集日(3班)	27 水	
9 土	隣保館編み物講座 老人憩いの家 午後7時～	28 木	
10 日	生涯学習まちづくり大会 町文化センター 午前9時～	29 金	役場業務を休みます(1月3日まで)
11 月	不燃・資源ごみの収集日(根雨・日野地区)	30 土	クリーンセンターくぬぎの森への ごみの持ち込みは午前11時まで
12 火	隣保館木工講座 下榎集会所 午前9時～	31 日	大みそか(ごみの収集、くぬぎの森へのごみの 持ち込みは休みます)
13 水	行政相談 町公民館 午前9時～正午	ミニギャラリー情報(町内の展示コーナーを紹介します)	
	発泡スチロール・電池の収集日(4班)	山陰合同銀行根雨支店：「町書道グループ・町俳句同好会 展」～12月22日まで	
14 木	発泡スチロール・電池の収集日(5班)	日野総合事務所：「職員文化祭(展示)」～12月8日まで 「庁舎の経費削減の取り組みパネル展」12月11日～28日まで	
15 金	発泡スチロール・電池の収集日(6班)	蔵美術館(上菅)：「冬の大山～岡野三郎絵画展～」～3月 まで	

直通 電話	総務企画課	72 0331	住民課	72 0333	出納室	72 2105	健康福祉課	72 0334
	産業振興課	72 2101	黒坂支所	74 0211	公民館	74 0212	議会事務局	72 0335
	農業委員会	72 2103	教育委員会	72 2107	文化センター	72 1300	給食センター	72 1167
	健康福祉センター	72 0334	地域包括支援センター	72 1852	ひのっこ保育所	72 0238	黒坂保育所	74 0225
	下榎集会所	72 1191	役場代表番号(夜間・休日)	72 0331				

町長の定期便

第8回

まちの皆さんに勇気をいただく

11月5日、秋晴れの日曜日、江府町で開かれた日野郡新そばまつりに出かけてみました。今年のできたてそば粉で打った、各町のそば処自慢のそばを食べ比べてみましたが、さすがはそれぞれ特長のある味で、甲乙つけがたいところでした。

しかしその中でも日野町のお店の前では、長蛇の列で順番が来ないほどの大盛況でした。郡外からも多くの人出でしたから、日野そばも名物として定着した感があり、大変うれしい一日でした。皆さんもぜひ日野町の新そばを賞味してみてください。とてもおいしいですよ。

また、秋は運動会や文化祭と、各種イベントの花盛りです。皆さんがお元気で楽しく参加され、笑顔でにぎやかに交流を深める姿は、元気づいていなあ、幸せそのものだと思います。11月3日には、町文化センターでの日野中学校文化祭に参加しました。催し物もたくさんありましたが、吹奏楽部の発表は、県大会、中国大会で優秀な成績を収め、東京で開かれる管楽合奏コンテストを翌日に控えての演奏でした。少ない部員で複数の楽器を器用にこなしている素晴らしいものでありましたが、お話では費用を保護者をはじめ町民の皆さんからの寄付を受けての遠征とのことでした。多くの皆さんの励ましの中での参加にたいへん感動しました。指導された先生や、生徒たちもいつまでも心に残る出来事と思います。

このような素晴らしい日野町に勇気付けられた今年の秋でした。

(11月8日記)

日野町長 景山 享弘

町食生活改善推進協議会さん オススメ料理 ③③

今が旬のさつまいもを手軽なおやつに
バターの風味を利かせて



スイートポテトの包み揚げ

【材料】4人分

- さつまいも（皮をむいて500g）
- バター（50g。無塩の場合は塩をひとつまみ加える）
- 砂糖（50g）
- スキムミルク（大さじ3）
- ぎょうざの皮（30枚）
- 揚げ油

【作り方】

- ① さつまいもは厚めに皮をむいて水にさらしておく。
- ② ①をひたひたの水で煮る。
水分がなくなったらマッシャーでつぶし、バター、砂糖、スキムミルクを加える。
- ③ をぎょうざの皮で包んで揚げる。



『半年間お世話になります。よろしくね!』
撮影 松本利秋さん（秋縄）

オシドリ

VOL. 105

来て・見てください

今年もやって来しました。鶺鴒の池にも日野川にもオシドリたちが。毎年同じ時期にやって来るから感激ですね。

11月2日、午前8時、645羽。昨年と比べるとかなり多いです。このままここに留まるのでしょうか。これからまだ四国や九州に南下するのでしょうか。「おい、オシドリさん」と聞いてみたいですね。とにかくお出かけください。可愛い鳥が待っていますよ。

【連絡先】 オシドリグループ事務局

森田（電話72 0271）